



1年生初見学旅行 密着レポート!

今日(15日)は、1年生にとって初めての見学旅行でした。オオヤブデーリーファームという牛舎に行き、毎日飲む牛乳がどうやってできるのかを乳しぼりの体験を通して理解することができました。子供たちは乳しぼりの際、初めての牛にドキドキでした。しかし、牛から出てくる牛乳に触れるとその温かさに気づき、笑顔で搾乳をしていました。また、昨日生まれたという子牛に触れ、「毛がふさふさしている。」「可愛い。」という歓声があがりましたが、その子牛は雄で、三歳になったら肉牛として処分されることを知ると、「可哀そう。」という声もあがりました。スタッフの方から、「そのお肉は誰が食べるの?」と問われると「ぼくたちだ…。」ということに気づきました。そして、スタッフの方から、「だから、食べ物は粗末にしないで、残さず食べて欲しいと思います。」とお願いされると、「はい。」と大きな声で返事をすることができました。

オオヤブデーリーファームには、トウモロコシ畑に、自然の巨大迷路があります。その大きさは、本校の運動場位に思えました。その迷路に、グループごとに挑戦し、子供たちは「こっちだ!あっちだ!」と言い合いながら迷路を次々とクリアしていきました。子供たちが迷路をクリアするのがあまりにも速かったので、2回も3回も挑戦する子供もいました。今週まで迷路があり、今後トウモロコシは収穫され、牛の餌となるそうです。

オオヤブデーリーファームを後にして、運動公園に移動し、待ちに待ったお弁当の時間です。かなり体を動かした子供たちでしたので、美味しそうに食べていました。おうちの方々の愛情たっぷりのお弁当はどれも美味しそうでした。お弁当を食べた後は、広場で滑り台をしたりブランコをしたりと、子供たちの笑い声が広場に響き渡りました。また、どんぐり拾いや草花や虫など自然との触れ合いができた一日となり、ちょっとした小旅行に思い出がたくさんできたと思います。今日は、是非お子さんの土産話に花を咲かせてください。

今後は、他学年も見学旅行、修学旅行、5年生の宿泊教室と続きます。学級や学年の絆が深まっていく季節となります。学校会での体験談をおうちでも共有していただくと、新たな友達関係のこと、成長したことや嬉しかったことなど、お子さんの新たな発見があると思います。

